

剣道

No. 156

1月号

三木市剣道連盟
広報部
2012(平成24)年
1月23日(月)
発行

- 県優勝大会結果 (1・2面)
- 昇段者の言葉 (3・4面)
- ゆく年くる年 (5面)
- 青少年健全育成大会結果・月々の便り (6面)

◎本紙は、三木市剣道連盟ホームページ上
(<http://mikikenren2011.web.fc2.com/>)でもご覧になれます。PDFでカラー印刷できます。

ベスト8の壁に指が届く

第58回兵庫県剣道優勝大会

三木剣連チーム、3年連続ベスト16入り

11月23日(祝・水)於王子スポーツセンター

兵庫県下の一般社会人の剣道団体を一堂に集めた、恒例の「第58回兵庫県剣道優勝大会(一般の部)兼第65回兵庫県民体育大会(剣道競技)」は、平成23年11月23日(祝・水)に、神戸市立王子スポーツセンターで行われ、我が三木市剣道連盟からは例年通りA・B2チームが、県下の95チームに混じって出場した。

昨年度はベスト16入り(2年連続)を果たし意気揚がる我が三木剣連チームは、早朝7時集合出発

で、選手・監督・応援をふくむ約20名が神戸の会場に向かう。

兵庫県剣道連盟主催の「一大イベント」とあつて、この日全日本剣道連盟剣道功労者表彰伝達を始め諸表彰などが行われ、試合は10時過ぎに始まった。

Aチームは第二試合場で、Bチームは第五試合場で戦った。

先ずBチームは、緒戦甲南大学剣道部OB達の「甲南縦之会」と対戦、先鋒粟田は見事な抜き胴で先



いざ勝負のBチーム



Bチーム粟田、まぎどウをぬかんとするとこ

取するも、メンに乘られて引き分け、続く山北、このチーム一番の元気と若さで、ド・メの2本勝ち、しかし、中堅以下が続かず、3連敗してBチームは初戦で姿を消す。

一方Aチームは、1回戦「北須磨剣修会」を3-1で下し、2回戦「豊岡剣友会」を5-0で一蹴、早3回戦となる。これで勝てば、去年と同じベスト16入りだ。ところが、3回戦の相手「西宮剣志会」は、5段、7段を揃えた強者たちだ。本日好調の西本、次鋒高尾が引き分けた後、中堅小林が下の1本勝ち、さらに副将松本も1本勝ちして勝負を決め、大将上田、余裕の戦いぶり、相手大将井戸6段をコテに仕

留めて、終わってみれば3-0の快勝だった。

いよいよ4回戦。これまで達成したことのないベスト8の壁である。相手は伝統を誇る関西学院大学剣道部OBで組織する「雄華会」、選



A チーム高尾のメン相手辻川に届かず

手もみな若く平均年齢28歳のチーム。対する我が三木市Aのそれは36歳。

先鋒西本、再三の攻撃も相手にかわされ、時間切れすれすれに放ったメンを下に返されて、1本負け。次鋒高尾、メンを先取されたものの、見とどなメンで取り返し引き分けに。中堅小林、メメードで勝ち、タイに持ち込む。副将松本譲らず引き分けた後、大将上田もメンを先取されながら、コテで取り返し、

引き分けた。かくして両者譲らず1-1、本数も同じ4本ずつで、代表戦にもつれ



小林のメンが相手増永に返されたところ

込んだ。代表選に出たのは、本日絶好調、試合経験豊富な小林隆仁(38歳)、相手は27歳の先鋒増永健太(東播磨高-関西学院)、先鋒西本が敗れた相手である。さあ、いよいよ代表選が始まった。

小林果敢に攻め、手を出すのが決定打出す。時間ばかりが経過する。

いよいよ大詰めの時、小林捨て身のメンに跳び込む。決まったか？に見えたそのメンを増永頭上で返してドウに。3本の白旗が一斉に上がった。万事休す、またしてもベスト8の壁は越えられなかった。しかし、確実にベスト8の壁には指が届いた。

三木市チームに実力が備わっていることを、残り少なくなった試合を見守っていた多くの他のチームの選手、審判団が見届けた。



敗れて悔いなし、Aチームの面々

恒例の反省会は、同日「つぼ八」で行われ、先に昇段を果たした、田畑修・下瀬澤生(七段)、大柴敏昭(六段)の先生らの昇段祝賀会も兼ねたため、昇段祝いに駆けつけた剣道仲間も選手団に加わり、三〇数名が参集して、大いに盛り上がった。

【試合結果】

Bチーム 1回戦

○三木B 1-3 甲南縦之会 (1回戦敗退)

Aチーム 1回戦

○三木A 3-1 北須磨

2回戦

○三木A 10-0 豊岡剣友会

3回戦

○三木A 3-0 西宮剣友会

4回戦

○三木A 1-1 雄華会

代表戦 小林-D 増永

(Aチーム、ベスト16)

熱戦を物語る4回戦の結果

三木市A	先	次	中	副	大	代
	西本	高尾	小林	松本	上田	小林
雄華会	増永	辻川	谷際	河合	前原	増永
	D	X	X	X	X	D

感謝!! 剣道六段昇段 大柴 敏昭



三木市剣道連盟の各先生方からのご指導のおかげで、この度、十一月の昇段審査会において、剣道六段に合格することができ感謝しております。三木市で剣道を続けてきたことが、昇段できた要因と思っております。

三木市剣道連盟の各先生方の愛情溢れたご指導によるものであり、他市とは一味も二味も違って、昇段審査の要領も教えていただきました。また、日頃の稽古では、別所少年剣道教室で、子供達と共に基本稽古をしながら、逆に子供達にも教えられています。

その中の一部ではありますが、今回の実技審査で特に気を付けて臨んだこと、各先生方に教えて頂いたことを書いてみます。

一、打ちすぎない剣道をする。

今年の指導者講習会(九月)で鈴木康功範士に、2〜3本人ついているのに、何故その後、打突しにでるのか？体さばきをする方がよいとの指摘がありました。無駄打ちに繋がり、我慢することが大切です。

二、打ち方、体が浮かない。

普段の稽古で安栖先生より、打突時に体が浮いているとの指摘がありました。打突時に左手が浮いてしまふため、体の切れが無く、手の内の刃えが無くなりまふ。これに対応するには基本稽古しかありません。

三、昇段審査に臨むための心構えと攻め方。

黒田先生には、審査に臨む心構えで、気力の充実、落ち着く・余裕を持つ等ですが、これは言葉では表現できません。また、色々な攻め方、誘い方も教えていただきました。構え方

剣先の位置・少しでも前にでる・気の張り等、多岐に渡りご指導をいただきました。

四、その他の先生方からの指導

姿勢、打ちきりなど、普段の稽古の中で、手本として見させていただきながら、自分でも真似をし、また指導していただいたことを実践しながら稽古してきました。これらのご

剣道七段を拜受して 田畑 修

平成23年11月19日、名古屋での七段審査で合格することができました。これも素晴らしい先生、指導者にめぐまれ、多くの剣道仲間、剣友に支えられ、三木の地で、長い間続けられたおかげです。剣道教室に携わって子供達と一緒に稽古ができたことに感謝しています。本当にありがとうございました。私の合格を一番喜んでくれたのは、小椋治朗さんでした。高校一年で一緒に剣道を始めて今年で43年間、ずっと一緒に剣道をやってきました。彼はずっと前に七段を合格して私よりもたまたしている

は、いまだにできていませんが、今回の実技審査では少し実践できたように思います。ご指導いただいた各先生方に感謝し、これらの課題を心に留め、教えられたことを常に実践できるように稽古に励みますので、これからも宜しく、ご指導ください。よろしくお願いいたします。



のを、叱咤激励、アドバイスを多くしてもらいました。「審査に臨んで相手を呑んでかかれ、気持で負けるな」と。

それと紫雲館の週3回稽古がすぐく役に立ちました。安栖先生に基本重視の稽古、悪癖を直していただきました。高橋先生からは、「士道覚悟の精神」を、田中司先生には、いつも構えと姿勢をチエックしてもらいました。神澤正輝先生からは、実技審査では、自分が打ちたい事、したい事を決めてかかることがあつてもいいと。黒田先生には、辛抱の必要性を教えていただきました。こ

七段昇段への感謝

下瀬澤生

平成23年11月19日、名古屋での七段審査で合格させて頂きました。平成12年京都で六段に合格以来、四回目の挑戦でした。途中、足や腰の故障、膝や肩の痛み等であつた思いもしましたが、このような状況の中で、剣道を続けて来られたのは、家内を始めとする家族の理解と応援が得られたこと、そして所属する緑が丘の剣道クラブの子供たちや指導者の皆さんの応援のお陰であると感謝している次第です。この度の審査合格については、緑が丘の剣道クラブの各指導



れらすべてのことが審査に役立ちました。加えて、相手にも恵まれて、運よく合格することができました。これから受審される方に少しでもお役に立てれば幸いです。今後は、もつともつと精進を重ねて、御指導下さつた先生方に近付きたいと思えます。これからも御指導、御鞭撻をよろしくお願い致します。

者の先生方を始めとして、多くの三木市稽剣道連盟の先生方からの稽古を通じてのご指導ご鞭撻の賜物であると心から感謝しています。本当に有難うございました。さて今回の審査で、心掛けたこと、

状況等を顧みますと、先ず心掛けたことは、・安栖先生に繰り返し言われた、「気合・間合・勢い」・宮脇先生に言われた、「剣先を揺らさず、下がらず、足(指先)で攻める」ということです。多分これらは、多くの先生方から頂いたご指導と同じようなことだと思えますが、これまでも中々自分としては具体的な自分の動きとして実現できないものでした。

当日、立会直前に黙想をしながら念じたことは、とにかく先ず「大きな気合を掛けて」「相手を圧倒する気構えを示すこと、そして「剣先を揺らさず、下がらず、足(指先)で」「相手の剣先を攻めながら」「自分の打てる間合いまで入り」「ここぞ、と思つたら迷わず打ち込み、「体当たりするつもりで勢いよく打ち切ること」、でした。普段の稽古でも同様な心掛けでいたつもりですが、実際には中々できませんでした。これまでの審査では、立ち上がりから終わるまでの経過がほとんど頭に残っていません。多分頭の中が真っ白になっていたと思います。今回の審査では、先に田畑先生が合格をしていましたので、よし、自分も頑張ろう、と心中に期して臨

みました。不思議にも2回の立ち会いは何れも最初から落ち着いて、立会開始から相手の動きも良く見え、気合でも負けていないように感じ、間合いの詰め、初太刀の面の打ち込み(2回とも浅かった)も割りと冷静に自覚していたように思います。お陰で、その後のしつかりした面や面返し胴が打つたのではないかと思えます。

多分、立ち会いの順番が後半で、しかもCだったので最初の対戦相手の立ち会いを見ることが出来、その間に前述の心構えを反芻出来たことも良かったのだと思えます。

自分としては初めて手応えを感じた審査でしたが、半信半疑で発表を待ち、合格が判つたときには思わず心中でガッツポーズを取つてしまいました。

今回の審査合格については、本当に多くの先生方に繰り返しご指導頂いたお陰であると改めて心から感謝し、お礼申し上げます。本当に有難うございました。

今後は七段に恥じない剣道が出来るように更に精進したいと思えますので、今後とも変わらずご指導ご鞭撻頂きますよう、宜しくお願い致します。

ゆく年 稽古納め (平成23年12月25日)



厳しい冷え込みの中、平成23年度の稽古納めに、小・中・高校生、一般会員約100名が市民体育館に集まった。朝8時30分から体育館周辺を入念に掃除した後、9時30分より11時30分まで、前半は小・中学生、後半は高校・一般会員が一年の総仕上げとして汗を流した。

閉会にあたり高橋会長が、「今年には内外とも災害が多かった。人生には何があってもおかしくないことを知った。我々剣道人はいかなる場合にもうろたえず見事に生きることができるよう、稽古の質が問われている」と話した後、全員で黙想し、正面に礼をして一年の最後の稽古を締めくくった。



くる年 稽古初め (平成24年1月8日)



新年が明けた1月8日(日)朝9時より、三木市剣道連盟稽古初めが行われた。

小・中・高校生及び一般会員計約120名が三木市民体育館に集まった。互いに新年のあいさつを交わした後、年頭にあたり高橋会長が、「今年は新たな視点で連盟の事業を見直し、組織の活性化を図りたい。ぜひご協力をお願いします」と熱く語った。

続いて去る11月20日の三木市民剣道大会で日本剣道形の部に入賞した3教室、志染、別所、自由が丘の小学生各2名に引き続き、昨年新7段に昇段された下瀬澤生氏と田畑修氏による見事な日本剣道形演武が披露された。

その後、小・中学生、高校・一般会員の稽古と続き、全員心地よい汗を流した。約2時間の稽古を終えて会員が一堂に整列、黙想して最後に神澤副会長が閉会あいさつ。会員は決意を新たにしていた。

お見事！吉川剣道少年団3連覇

第30回青少年健全育成剣道大会結果

平成23年10月2日(日)

於 三木市民体育館

去る10月2日に行われた第

30回青少年健全育成剣道大会

(教室対抗試合)は、小学生団体

の部で、吉川が昨年・一昨年に引

き続き優勝。見事3連覇を成し

遂げた。準優勝には、志染ス

ポーツ少年団が食い込んだ。3

位は吉川Bで、吉川の選手層の

厚さと、勝負強さが目を引いた。

◆試合結果◆

【小学生団体の部】

優勝 吉川剣道少年団 A

準優勝 志染SSD剣道部

3位 吉川剣道少年団 B



3連覇を目指して戦う吉川Aチームの池田選手(右)

中学生個人の部では自由が丘の低田選手が、パワーとスピードで吉川勢を退け見事優勝した。

【中学生男子個人の部】

優勝 低田 健(自由が丘)

準優勝 川崎将平(吉川)

3位 橋間祐久(吉川)

3位 浅井優輔(吉川)

中学生女子個人戦では、試合巧者の岡坂選手が自由が丘の内村選手を退け、優勝した。

【中学生女子個人の部】

優勝 岡坂和奏(吉川)

準優勝 内村友美(自由が丘)

3位 前山有彩(自由が丘)

*報告が遅れ申し訳ありませんでした。謹んでお詫び申し上げます

月々の便り

子月夜寒節

丹野骨平(こっぺい)

衾重ぬる 冬立つ日

炭売る声の聞こえる

衾重ぬる 冬立つ日

銭湯帰りに 二八蕎麦

衾重ぬる 冬立つ日

娘に送る 毛糸編む

衾重ぬる 冬立つ日

夜汽車の轍 遠く聞く

衾重ぬる 冬立つ日

抜け毛あはれや 洗い髪

季冬里歌

丹野骨平(こっぺい)

手入れの済みし 暮れの庭

南座に上がる 勘亭流

手入れの済みし 暮れの庭

新巻き鮭を 鉈で伐つ

手入れの済みし 暮れの庭

頭中で隠す 刀傷

手入れの済みし 暮れの庭

畔細道を 驚走る

手入れの済みし 暮れの庭

足袋まま寝て寝過ごしぬ